

いまちよう
今町遺跡範囲確認調査

今町遺跡は豊田市今町地内に存在する遺跡で、碧海台地端部に立地する。調査は第二東海自動車道建設予定地内で実施し、10ヶ所に範囲確認トレンチを設定した。断面観察と平行して、各層位単位の遺構検出作業を行い、遺構の検出と遺物の出土状況を精査し、遺跡の性格とその範囲を確認することを主眼に実施した。なお調査面積は200㎡である。

調査の結果、戦国から江戸時代の遺構が広範囲に分布し、遺跡の中心が15世紀から18世紀にあることが確認できた。その他では、T.T.8およびT.T.9トレンチでは鎌倉時代の灰釉系陶器や奈良時代の須恵器・土師器が出土し、調査地区の東南側には古代から中世にかけての遺構の存在も考慮する必要がある。またT.T.1以西では明確な遺構は確認できてない。したがって遺構・遺物の範囲は、現在の今町集落が存在する台地面から矢作川への緩斜面にかけて分布しているものと推測することが可能である。 (赤塚次郎)



今町遺跡範囲確認調査地点 (1 : 5000)